

自己評価報告書

令和6年度 佃中学校 自己評価報告書				
学校名：中央区立佃中学校		所在地：中央区佃2－3－2		
校長名：志村 昌孝				
生徒数 373名	学級数 11学級	教員数 22名	職員数 23名	
1 重点目標の達成状況及び取組状況				
<重点項目1>				
課題の解決に向けて自ら考え、自分の考えを深められる生徒の育成				
・「新しい時代を築く」力を、「自ら問いを立てる力」「手順を踏んで考える力」「諦めずに取り組む力」「多様な意見を認め協働する力」「自分の考えを深める力」と定義し2年間にわたり研究を進めた。 ・生徒アンケート「授業では自分の課題を考え、自分から解決する手立てなどを見つけたり、解決しようとして取り組んでいますか」は、昨年度は90％・本年度は88％が肯定的な意見となっている。また、「学習した内容について、分かった点やよく分からない点を見直し、次の課題に繋げることができていますか」は、昨年度は83％・本年度は78％が肯定的な意見となっている。肯定的な意見は下がっているが、この2年間で生徒の課題解決に対する考え方や課題に向き合う姿勢が向上し、昨年度は「良し（できた）」としていたことが、まだできるのではないかと意識が向上したためと思われる。 ・保護者アンケートの「学校は学習内容がわかりやすい授業をしている」は、肯定的な回答は71.1％で、「学校は基礎学力が身に付くように教えている」は、肯定的な回答は71.4％であり、否定的な回答は8.7％と10.1％であった。授業のアンケートなどでは、学習に一生懸命に取り組んでいる生徒の姿に、保護者からも一定の評価を得ている。				
<重点項目2>				
周囲の多様な考えを認めながら、協働できる生徒の育成				
・生徒アンケート「自分には、よいところがあると思いますか」は、肯定的な回答が昨年度85％、本年度86％と自尊感情はとても高いものとなっている。これは、学校・家庭が生徒の考えや思いに寄り添い、生徒を認めしっかり支えていることが大きいと思う。また、「自分でやることを決めたことは、やり遂げるようにしていますか」についても、肯定的な回答が昨年、本年度共に95％という数字は、学校教育を通じて生徒の大きな成長を確認できる。 ・保護者アンケート「学校は人権を尊重する姿勢で生徒の指導にあたっている」は、肯定的な回答74.7％であり、否定的な回答は7.6％であった。生徒の豊かな心の育成において、保護者からも一定の評価を得ていると考える。				
※自己肯定感の高まりと共に、周りの人との関わりを大切にする気持ちが大きく育った。				
<重点項目3>				
生徒が安心して登校し、満足して下校できる学校				
・生徒アンケート「学校の規則を守って生活をしていますか」の肯定的回答は98％。また、「公共物を大切にしていますか」は99％と2つの項目でほぼ100％に近い結果は、学校生活が安心・				

安全に行われていることがうかがえる。

- ・生徒アンケートで「学校に行くのが楽しいですか」の肯定的回答が昨年度 90%、本年度 87%と高い評価となっている。生徒の居場所として学級・学校が大きな役割を果たしている。生徒が安心して満足のいく学校生活を送れているというのは、うれしく思う。
- ・保護者アンケート「生徒は明るく生き生きと学校生活を送っている」で、肯定的な回答が昨年・本年度ともに 90%を超えており、学校生活の安全・安心が確保されている。また、他の項目の「そう思う」の回答が、昨年度からすべての項目とも増えており、保護者からも一定の評価を得ていると考える。

※教職員と生徒、生徒同士の関わりが穏やかである。教師から生徒への声かけ・励ましがあり自分は認められているという自己肯定感が高まっている。また、生徒同士も授業や学級会活動などにおいてお互いを認めるという場面が多いからと考える。

2 重点項目以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

- ・「誰かの役に立つ人になりたい。」「困っている人がいたら進んで助ける。」という質問には 90%が「そう思う」と肯定的に回答している。学級会活動や委員会活動、学校行事において協働する姿勢が身についている。また、道徳の授業では、グループでの話し合いを通して物事を深く考える習慣が身についている。
- ・苦手な教科、体力向上など何かを克服するための努力については個人差が感じられる。学校全体としてはアンケートからも成果は出ているが、さらに困難に立ち向かう校風を築いていく。
- ・地域防災訓練への参加、地域のお祭りのボランティア、町会の餅つき大会の手伝い、PTAと生徒会がコラボした全校レクなど、学校と地域・保護者との関わりが多くあったことは大きな成果。しかし、その取組の状況が保護者に十分に伝わっていない。情報発信の工夫が求められる。
- ・保護者アンケートでは、すべての項目で昨年度と比べて肯定的な回答が増えた。今年度は、アフターコロナでの体育祭や文化祭など充実できた学校行事を実施することができ、多くの保護者の方々が制限なく参観することができた。また、学校行事も保護者と協力しながら進めることができた一年間であった。

今後も家庭と学校が連携し生徒を見守り支えていきたい。

3 今後の改善方策

- ・2年間にわたり研究実践をした「課題の発見とその解決のために、主体的・協働的に学ぶ学習」をさらに推進する。
- ・地域防災や地域の行事に生徒が積極的に関わり、地域の一員としての自覚と責任を育てるとともに、将来は地域の中心として活躍できる生徒を育成する。
- ・すべての生徒が、安全で安心して学校生活を送れるように「絆づくり」「居場所づくり」を行い、誰一人取り残すことのない教育環境を推進する。
- ・生徒の成長したことや善行、また改善点など学年通信や電話、面談などで保護者に丁寧に伝え、共に生徒を見守り、育てる教育を推進する。

＊ 3月末に各学校・幼稚園のホームページで公表していきます。